

2026年7月22日

取り組み



リ・スキリングプログラム及び大学院教育で Startup Business School のコンテンツ活用へ —工学研究科と FoundersNation 株式会社との連携協力協定締結—

❖ 概要

大阪大学大学院工学研究科と FoundersNation 株式会社は、大阪大学が実施する社会人向けリ・スキリングプログラム及び大学院授業において FoundersNation 株式会社が運営する「Startup Business School」のコンテンツを活用する連携協力協定を7月15日に締結しました。

今回の協定により、ディープテック領域に多様な研究シーズを持つ大阪大学と、海外スタートアップ創出の動向に詳しくグローバル水準で事業創出の支援を目指す Startup Business School が共同し、海外の知見を取り入れながら、スタートアップやイノベーションに関する日本最先端の経営人材育成プログラムの開発を進めます。

本協定に基づき構築される教育プログラムは、今年度文部科学省「産学連携リ・スキリング・エコシステム構築事業」の支援を受け、工学研究科が提案する「Industry on Campus 型リ・スキリング教育エコシステム構想」(代表者:大政健史工学研究科長。[2026年7月15日プレスリリース](#))の一環としてスタートし、来年度以降、大学院科目への展開を予定しています。

メディア関係者の皆様におかれましては、本プログラムの積極的なご取材をお願い申し上げます。

また、本件については、社会部等の方にもご周知いただけますと幸いです。



❖ 締結式の開催

本協定の締結にあたっては、2026年7月15日(水)大阪大学吹田キャンパスにおいて、締結式を行いました。当日は大阪大学大学院工学研究科 大政健史研究科長と、FoundersNation 株式会社 藤本あゆみ代表取締役社長により、今回の締結による連携・協力に向けた意見交換を行いました。



【大阪大学大学院工学研究科 大政健史研究科長のコメント】

今回、FoundersNation 社と連携協力協定を締結できること喜ばしく思います。工学部/工学研究科は今年創立 130 年目となります。古くから関西は産業との結びつきが強い反面、関東に比べると起業やスタートアップといった『自分で起業を起こす』マインドが比較的弱いと感じております。今回の協定を機に、FoundersNation 社との相互の連携が発展していくことを期待しております。大阪大学においても、スタートアップのムーブメント発信地となるよう引き続き取り組んで参ります。

【FoundersNation 株式会社 藤本あゆみ代表取締役社長のコメント】

今回、リ・スキリング教育やビジネスエンジニアリング教育で先端の取り組みを行う大阪大学大学院工学研究科と連携協力協定を結ぶことを喜ばしく思います。FoundersNation を昨年設立し、グローバル視点での経営カリキュラム開発を行って来ました。本協定を通じた大阪大学へのコンテンツ提供を通じて、グローバルレベルの経営人材を輩出し、日本のスタートアップエコシステムをグローバル水準に発展させる一助にできればと感じます。

❖ 協定の背景

大阪大学大学院工学研究科では企業の研究組織を協働研究所／共同研究講座(以下では、共研と呼称)として学内に誘致し、Industry on Campus と称する学内での産学共創活動を推進しており、共研等と連携し、社会人対象のリ・スキリング教育についても豊富な実績を有しています。

一方、社会や企業からは、いわゆるディープテック(社会課題を解決して私たちの生活や社会に大きなインパクトを与える科学的な発見や革新的な技術のこと*)による新規事業の創出が強く求められおり、大阪大学ではリ・スキリング教育エコシステム構想の中で、大学としてこの期待に応え、新しいスタートアップ教育の創出を検討してきました。

*産業総合研究所「産総研マガジン」より https://www.aist.go.jp/aist_j/magazine/20240228.html

FoundersNation 株式会社はグローバルでのスケールアップを前提としたスタートアップの経営やスタートアップの支援について学ぶ、Startup Business School をこれまで運営してきました。このStartup Business School はスタートアップの経営に関する実務に携わる専門家による講義、Climate Tech(クライメートテック)、Space Tech(宇宙テック)、Life Science(ライフサイエンス)といった分野の専門家による講義、海外のスタートアップの成長に関する講義等によって構成されます。

Startup Business School の特徴

- ① スタートアップの経営に関わる実践的な教育プログラム
- ② グローバルにスケールアップするビジネス創出を前提としてグローバルの事例や知見を取り入れたプログラム
- ③ 実務家や業界の専門家等、第一線で活躍する人材等の充実した講師陣

❖ 連携協力協定の内容

今回の協定により、FoundersNation 株式会社は、大阪大学大学院工学研究科が実施する社会人向けリ・スキリング教育において開講されるプログラム「ディープテックビジネス実践」に対して **Startup Business School のコンテンツ提供**を含めた協力を行い、大阪大学は、Startup Business School のコンテンツ開発に協力します。これらコンテンツは、大阪大学大学院の教育プログラムとしても展開予定

です。

両者は今後、海外の知見を取り入れ、スタートアップやイノベーションに関する我が国で最先端の経営人材育成プログラムの開発を行っていきます。

❖ 大学院工学研究科 リ・スキリング教育プログラム「ディープテックビジネス実践」について

新規事業は初めから『世界市場を視野に』が現代の世界の常識となっています。ディープテック領域に多様な研究シーズを持つ大阪大学と、海外スタートアップ創出の動向に詳しくグローバル水準で事業創出の支援を目指す Startup Business School が共同し、グローバルでの成功を見据えたスタートアップの成長戦略思考の習得及び大阪にグローバルスタートアップのエコシステム構築を目指します。

① 対象者

- ・ 専最新の科学技術に関心があり、事業変革志向を兼ね備え、自ら、もしくは企業内でイノベーション創出に貢献したいと考えている方
- ・ 大阪大学 Industry on Campus に参画する企業の方

② 開講概要

- ・ オンデマンドによる講義科目の提供(2026 年 8 月開始を予定)
- ・ オンサイトの対面授業(梅田エリアのイノベーションスペースにて 10 月開始)
- ・ さらなる学修を求める場合、本学大学院工学研究科産学官共創コースへの入学等、継続的な学びを支援。

❖ 特記事項

本プロジェクトホームページにて最新情報を公開しています。ぜひご覧ください。

<https://www.cfi.eng.osaka-u.ac.jp/iocree/>

本協定に基づき構築されるプログラムは、今年度文部科学省「産学連携リ・スキリング・エコシステム構築事業」の支援を受け、工学研究科が提案する「Industry on Campus 型リ・スキリング教育エコシステム構想」(代表者:大政健史工学研究科長)の一環としてスタートし([2026 年 7 月 15 日プレスリリース](#))、次年度以降、大学院科目への展開を予定しています。